

一般

1 高度慢性期医療

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
1-1	小町 敏弘	臨床工学技士	千葉県	富家千葉病院	透析患者の掻痒感に対してのPMMA膜使用HDとPost online HDFの比較検討
1-2	下森 優	臨床工学技士	埼玉県	富家病院	低栄養高齢透析患者におけるダイアライザの臨床評価
1-3	丸橋 恭子	医師	群馬県	くすの木病院	当院における高齢者SMA症候群の2例
1-4	江崎 幸雄	医師	群馬県	くすの木病院	当院における高齢者関節リウマチ治療の現状
1-5	吉田 祐司	理学療法士	徳島県	徳島平成病院	呼吸時の脊柱運動に着目した呼吸助手技の効果
1-6	山之上 弘樹	医師	静岡県	静岡徳洲会病院	慢性期病棟患者に発生した腸管気腫をとまなう門脈気腫症の2例

2 医療の質・クリニカルインディケーター

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
2-1	平子 真由美	看護師	福島県	いわき湯本病院	インスリン自己注射指導の手技の統一
2-2	深川 淳子	介護福祉士	愛知県	刈谷豊田東病院	介護職の人材教育に必要な目標設定
2-3	田中 晶代	看護師	大阪府	堺平成病院	透析時の血圧低下・筋痙攣に対するI-HDF（間歇補充型血液透析濾過）の効果検証
2-4	森田 峰和	看護師	静岡県	駿河西病院	回復期病棟におけるユマニチュードの実践
2-5	岡田 直子	看護師	兵庫県	西宮回生病院	発達障害のある患児への開口介助 ～患児がストレスなく診察を受けられる介助方法を考える～

3 医療安全・事故対策

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
3-1	市川 久代	看護師	三重県	長島中央病院	人工呼吸器導入における当病棟での取り組み
3-2	竹谷 夏樹	看護師	広島県	呉記念病院	医療事故防止に向けた取り組み ～インシデント報告件数増加を目指して～
3-3	須田 三香子	看護師	千葉県	富家千葉病院	環境整備について個々の認識調査 ～アンケート調査から明らかとなった環境整備の現状～
3-4	津田 洋	介護福祉士	千葉県	富家千葉病院	転倒・転落防止についての意識調査
3-5	梅田 浩之	理学療法士	山口県	山口平成病院	移乗時における車椅子フットレスト操作の評価：危険性の把握と身体機能に応じた対応
3-6	萩原 明美	准看護師	群馬県	内田病院	ポジティブ・デビアンによる転倒予防 ～転ばない認知症高齢者に共通したケアとは？～
3-7	守谷 祐子	看護師	埼玉県	霞ヶ関南病院	離院搜索手順の見直しと訓練の効果
3-8	柳坂 祐希	看護師	徳島県	中洲八木病院	当院における取り組み ～服薬エラー減少を目指して～
3-9	宿野 真嗣	理学療法士	東京都	青梅慶友病院	事故検証ラウンドとフィードバックシステム構築の有用性
3-10	佐藤 美和子	看護師	群馬県	群馬パース病院	点滴自己抜去のある認知症高齢者に対する装具を用いた介入の効果
3-11	平安 美和	看護師	京都府	洛和会音羽リハビリテーション病院	内服薬の自己管理に向けた取り組み ～評価基準を作成して～

4 臨床倫理

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
4-1	山根 勝	准看護師	島根県	安来第一病院	認知症治療病棟における看護倫理向上への取り組み ～病棟独自の行動指針を作成して～
4-2	高橋 亜佑	管理栄養士	千葉県	印西総合病院	代理決定支援のためのカンファレンス事例 ーチームと家族への働きかけー

5 予防医療・健診

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
5-1	高田 彩加	理学療法士	兵庫県	西宮回生病院	大学女子サッカーチームにおける1シーズンの外傷・障害調査
5-2	吉野 明日	理学療法士	山口県	山口平成病院	背筋力・胸囲・腹囲から考える身体組成測定の有用性
5-3	山崎 博喜	理学療法士	福岡県	原病院	頸部痛者と健常者における Visual Display Terminals 作業時の頭部・胸部運動角度の相違
5-4	重田 祐紀	事務職	群馬県	くすの木病院	PET/CT がん検診の実績と今後の課題

6 診療計画・クリニカルパス

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
6-1	高木 均	医師	群馬県	くすの木病院	当院におけるアルコール性肝障害患者の検討

7 臨床検査

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
7-1	石丸 香	臨床検査技師	埼玉県	富家病院	当院で行っているシャントエコーの取り組みと有用性の検討
7-2	小川 実華	臨床検査技師	島根県	安来第一病院	神経伝導検査の質の向上を目指して ～高齢患者の四肢の健康延伸に繋げるために～
7-3	中林 雄喜	臨床検査技師	東京都	京浜病院	レビー小体型認知症早期発見法としての重心動揺計の意義 軽度パーキンソン徴候はDLBのサイン
7-4	小菅 聡美	臨床検査技師	群馬県	内田病院	外来診療の業務改善の為の取り組み ～臨床検査技師の立場から～
7-5	市来 翼	臨床検査技師	神奈川県	平成横浜病院	当院におけるキノロン耐性 Escherichia coli の検出率

8 放射線

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
8-1	西尾 綾華	放射線技師	神奈川県	平成横浜病院	当院の入院患者の被曝線量

9 身体抑制廃止

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
9-1	福嶺 初美	看護師	福岡県	田主丸中央病院	身体拘束および解除のためのフローチャート作成とPDCAサイクル確立の取り組み
9-2	中里 創	作業療法士	東京都	永生病院	生活リズムの調整と不安への対応を行ったことでBPSDが軽減し、身体拘束時間が短縮した事例
9-3	原 あゆみ	看護師	新潟県	三条東病院	ミトン解除に向けての取り組みについて
9-4	吉田 悠紀	看護師	群馬県	くすの木病院	行動制限解除に向けての取り組み ～身体拘束3原則を意識したカンファレンスを試みて～
9-5	山越 真美	准看護師	東京都	ベトレヘムの園病院	身体拘束解除に向けた小さな取り組み ～ミトンから着脱式マスコット付き手袋（ベトボール）への試み～
9-6	関 正子	准看護師	群馬県	藤岡市国民健康保険鬼石病院	医療従事者間における身体拘束解除を阻害する要因
9-7	根生 一治	臨床心理士	埼玉県	富家病院	病院の認知症ケアにおける心理士の取り組み ～個人及び集団に対して～
9-8	田邊 佳奈	看護師	群馬県	群馬パース病院	褥瘡いじり・オムツいじりのある患者様の抑制着廃止に向けた取り組みの一考察
9-9	金子 奈津美	看護師	群馬県	群馬パース病院	スピーチロック廃止への取り組み ～グループワークによる意識付けの効果～
9-10	末光 直樹	看護師	愛媛県	南高井病院	拘束のない看護を目指して ～周辺症状のある認知症患者のミトンが解除できた症例～
9-11	寺田 まどか	看護師	大阪府	新仁会病院	身体拘束に対する情報の共有化 ーチェックシートを使用してー

10-1 感染症 I（流行性感染症）

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
10-1-1	荒井 よし江	看護師	群馬県	くすの木病院	新型コロナウイルス感染症疑似患者の検証
10-1-2	荒井 よし江	看護師	群馬県	くすの木病院	高齢者施設のCOVID-19クラスター発生の調査報告
10-1-3	奥田 智子	介護福祉士	富山県	介護老人保健施設みどり苑	コロナウィルス感染症に関する当事業所の取り組みについて
10-1-4	水澤 俊英	介護職	東京都	青梅慶友病院	当院における新型コロナウイルス予防対策下での余暇活動の状況と課題について
10-1-5	渡辺 泰志	放射線技師	千葉県	富家千葉病院	新型肺炎と放射線業務について
10-1-6	藤田 恵美	看護師	山梨県	城東病院	慢性期病院での新型コロナウイルス感染対策の取り組み 感染対策を通し学んだこと、今後の課題
10-1-7	三宅 英司	理学療法士	東京都	永生病院	COVID-19に対する外来リハビリテーションと通所リハビリテーションにおける感染対策の実践

10-2 感染症Ⅱ（その他）

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
10-2-1	高木 均	医師	群馬県	くすの木病院	療養病棟における胆道感染症の検討
10-2-2	工藤 知子	薬剤師	群馬県	藤岡市国民健康保険鬼石病院	療養病棟における中心静脈管理適正化の工夫
10-2-3	上野 真史	看護師	埼玉県	新越谷病院	療養病棟におけるBLNAR持続伝播における取り組みと効果（中間報告）
10-2-4	齋藤 由香理	看護師	福岡県	北九州若杉病院	手指衛生意識向上への取り組み ～本当の実施状況を把握し改善するには～
10-2-5	内田 美喜子	看護師	埼玉県	春日部厚生病院	手指消毒に対する意識調査 ～意識向上のためのアプローチ～

11 褥瘡

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
11-1	相澤 希	看護師	宮城県	石巻健育会病院	褥瘡を保有する糖尿病患者へのチームアプローチ～KOMIチャートシステムによる可視化から早期治癒を目指す
11-2	小林 啓太	理学療法士	埼玉県	富家病院	姿勢の変化によって生じる、仙骨、坐骨の圧変化
11-3	石井 宏明	作業療法士	鹿児島県	高田病院	褥瘡対策におけるチーム医療の取り組み
11-4	浅井 友貴	管理栄養士	福井県	福井リハビリテーション病院	褥瘡に対する栄養管理 ～CP10の提供が有効であった2症例～
11-5	水原 章浩	医師	埼玉県	東鷲宮病院	やっぱりラップ療法！～最新のラップ療法の応用
11-6	隅越 亜裕美	看護師	三重県	花の丘病院	弱酸性泡ハンドソープによる褥瘡部洗浄の効果
11-7	野中 由紀子	医師	埼玉県	西部総合病院	チーム医療で取り組む褥瘡の加療 ～より良い褥瘡の改善を目指して～
11-8	川崎 玲子	看護師	千葉県	印西総合病院	褥瘡予防に関する実態調査から得られた課題に対し取り組みをした効果
11-9	松田 美保	看護師	愛媛県	南高井病院	長期臥床により褥瘡を繰り返す患者のケア
11-10	白川 祐一	看護師	鹿児島県	国分中央病院	褥瘡発生・再発予防に向けた取り組み ～ポジショニングの検討・変更を行った事例を通して～
11-11	阿久津 亮太	看護師	群馬県	群馬パース病院	クッションと丸めたバスタオルの除圧の比較 ～褥瘡予防のための取り組み～

12 薬剤

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
12-1	白井 美和	薬剤師	東京都	京浜病院	レビー小体型認知症の診断的治療法
12-2	高橋 彩佳	薬剤師	群馬県	くすの木病院	減薬カンファレンスの検証 ～ポリファーマシー対策～
12-3	遠藤 憲	薬剤師	埼玉県	富家病院	地域包括ケア病棟とポリファーマシー
12-4	田中 亮	薬剤師	新潟県	三条東病院	病棟薬剤業務を通してみえた患者状態に基づく 薬物療法の提案
12-5	澤野 蒼汰	薬剤師	北海道	定山溪病院	ポリファーマシーに対する当院の取り組みと効果について
12-6	吉田 琢磨	薬剤師	東京都	緑成会病院	回復期リハビリテーション病棟でのポリファーマシー改善への取り組み
12-7	松永 素幸	薬剤師	千葉県	富家千葉病院	不潔行為、入浴拒否を主とした行動障害を伴う 認知症に対し、メマンチンが奏功した一例
12-8	平野 史門	看護師	愛知県	老人保健施設ひまわり	ポリファーマシー予防 ～スクリーニング用紙 を用いた老健での取り組み～
12-9	鳥海 悟	薬剤師	埼玉県	霞ヶ関南病院	安全な薬物療法への取り組みと課題
12-10	南 美登里	薬剤師	大阪府	泉佐野優人会病院	薬剤師が介入したポリファーマシー症例と取り組みについて

13 看護計画

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
13-1	山下 静香	看護師	埼玉県	富家病院	病棟内で統一した漏れないストーマケア
13-2	阪上 健太郎	看護師	大阪府	平成記念病院	人工呼吸器患者に対して無気肺の予防・改善の 為に積極的に離床させてみた
13-3	湯浅 美穂	看護師	徳島県	江藤病院	終末期にある言語的コミュニケーションの難しい 患者との関わりを通して
13-4	浅子 喜江	看護師	埼玉県	西部総合病院	入退院を繰り返す患者の実態調査と退院支援に おける今後の対策
13-5	戸島 由美	看護師	埼玉県	西部総合病院	退院困難と思われた重症患者へのアプローチ ～療養病棟からの在宅復帰を目指して～
13-6	月田 雅史	看護師	東京都	竹川病院	ナイチンゲールの「小管理」を実践したことで 患者のADL拡大が図れた事例

14 介護予防

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
14-1	石本 友恵	社会福祉士	埼玉県	特別養護老人ホーム 大井苑	介護予防体操がもたらす効果 ～体力測定からデータから見えるもの～
14-2	野口 俊治	医師	群馬県	くすの木病院	当院透析患者のフレイル、サルコペニアの現況 について
14-3	肥田 香苗	社会福祉士	兵庫県	南淡路病院	地域交流活動を通じて ～地域に根差した病院を目指そう～
14-4	上田 悠司	理学療法士	兵庫県	東浦平成病院	地域在住高齢者のいきいき百歳体操参加有無と 転倒経験、運動機能の関係 ー当院体力測定会の参加者においてー
14-5	上嶋 亜希子	作業療法士	長野県	上條記念病院	当院での通所型サービスAの取り組みと今後の 課題
14-6	田嶋 尚美	理学療法士	群馬県	群馬パース病院	介護予防事業に参加している地域高齢者の体力 測定結果から見えてきた今後の課題
14-7	演題取り下げ				
14-8	牧 尚弥	理学療法士	静岡県	熱川温泉病院	令和元年より対象と方法を変更した歩行改善教 室課題
14-9	相澤 優華	理学療法士	神奈川県	平成横浜病院	化学療法前の患者に対し運動療法を行いサルコ ペニア悪化防止を図った1症例：症例報告
14-10	稲垣 千香子	事務職	北海道	札幌西円山病院	リハビリ健診の活動報告と課題～コロナ渦にお ける今後の予防事業の在り方について～

15 回復期リハ

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
15-1	梶原 美恵子	歯科衛生士	福岡県	北九州古賀病院	回復期病棟入院患者の血清アルブミン値と咬合支持の関連性についての調査報告
15-2	馬場 慶和	理学療法士	福岡県	原土井病院	発症から4カ月経過した脳卒中片麻痺患者の歩行再建に向けて長下肢装具を導入した一例
15-3	石森 卓矢	作業療法士	群馬県	美原記念病院	回復期リハビリテーション病棟における脳卒中患者の入院期間の検討
15-4	小此木 直人	理学療法士	群馬県	内田病院	認知症合併者に対するロボットスーツHALの歩行改善効果の検討
15-5	篠崎 有隆	理学療法士	群馬県	内田病院	発症場所の影響を加味した認知症を伴う患者の退院先・入院日数・FIM利得の特性
15-6	井草 拓海	理学療法士	群馬県	内田病院	高齢者に対するリズム聴覚刺激を用いた短時間歩行訓練の即時的効果の検討
15-7	佐々木 笙子	作業療法士	埼玉県	富家病院	当院における退院前訪問指導の実施状況
15-8	橋岡 匠平	理学療法士	福岡県	高良台リハビリテーション病院	脳卒中片麻痺患者に対する歩行練習が身体機能に及ぼす影響～ウェルウォークとSIASの関係～
15-9	佐々木 めぐみ	理学療法士	東京都	南多摩病院	膝関節屈曲制限により効率的な立ち上がり動作の獲得に難渋した症例
15-10	菊地 瑛大	作業療法士	千葉県	富家千葉病院	小脳症状のある左片麻痺患者が右大腿骨頸部骨折を呈した一例 ～疼痛抑制と歩行獲得に向けて～
15-11	安藤 正泰	理学療法士	埼玉県	西部総合病院	リハビリテーション部と回復期リハビリテーション病棟におけるインフルエンザ感染対策の連携について
15-12	大宮 隼一	理学療法士	東京都	多摩川病院	ロボットアシストウォーカーRT.2は高齢者の自立支援に役立つ可能性がある
15-13	珍田 円理	理学療法士	東京都	多摩川病院	変形性膝関節症の既往がある脳卒中患者へのロボットスーツHALの適応
15-14	岩内 宏達	作業療法士	香川県	橋本病院	退院後自宅生活においてADL低下を防止するために必要な因子の検討
15-15	出戸 遥香	理学療法士	北海道	イムス札幌内科リハビリテーション病院	回復期リハビリテーション病棟入院患者における実績指数と異なる栄養指標の関連性について
15-16	吉田 光希	理学療法士	群馬県	角田病院	HALによる歩行訓練により、歩行能力が向上した症例 ～回復期脳卒中患者への効果～
15-17	京井 優太	理学療法士	群馬県	角田病院	重度脳卒中片麻痺に対し長下肢装具を使用した歩行練習に着目した症例
15-18	田村 翔太郎	理学療法士	北海道	イムス札幌内科リハビリテーション病院	回復期リハビリテーション病棟における身体機能アセスメントシートの導入が歩行開始日数に与える効果
15-19	高橋 果也	作業療法士	兵庫県	神戸平成病院	当院リハビリテーション部の目標設定における面接評価の重要度調査
15-20	荒尾 雅文	理学療法士	東京都	みなみ野病院	回復期リハビリ病棟退院時のFIMは入院時FIMでどの程度予測できるか？ —重回帰分析と交差妥当性の検討—
15-21	花岡 隆宏	理学療法士	大阪府	岸和田平成病院	立位バランスおよび注意機能はトイレ動作自立に相関する
15-22	大西 徹也	理学療法士	香川県	橋本病院	当院回復期リハビリテーション病棟のアウトカム評価の課題 ～2年間の当院FIMデータを用いて～
15-23	南 直希	理学療法士	大阪府	堺平成病院	回復期リハビリテーション病棟の患者とスタッフの離床に対する意識について

15-24	村田 和加奈	作業療法士	大阪府	堺平成病院	認知機能と栄養状態がFunctional Independence Measure の改善や在棟日数へ及ぼす影響
15-25	荻野 真唯	理学療法士	兵庫県	神戸平成病院	HONDA アシストによる非対称性の評価
15-26	緒方 麻衣	看護師	熊本県	水前寺とうや病院	回復期リハビリテーション看護師とセラピストの情報共有に向けたFIMの差異の検証
15-27	小松 広明	理学療法士	東京都	緑成会病院	自宅退院患者の生活範囲と歩行能力の関係-生活範囲拡大を目指した一症例
15-28	設楽 一輝	作業療法士	神奈川県	平成横浜病院	食事動作の獲得に向けてー学習性不使用の改善へー
15-29	糸川 竜平	理学療法士	大阪府	泉佐野優人会病院	回復期リハビリテーション病棟における心不全患者の体組成成分がFIM効率に与える影響の検証
15-30	下地 里奈	看護師	京都府	洛和会音羽リハビリテーション病院	入院時訪問の定着に向けた取り組み～対象患者選定基準の作成～
15-31	船山 玲	作業療法士	埼玉県	緑成会病院	CoCoroeAR ² ®と電気刺激療法の併用による効果:症例報告
15-32	川畑 祥子	作業療法士	大阪府	豊中平成病院	回復期リハビリテーション病棟の実績指数に影響を与える因子
15-33	本橋 明大	理学療法士	埼玉県	霞ヶ関南病院	人との繋がりに着目し、友人との活動が再開できた事例
15-34	湯浅 雅史	理学療法士	徳島県	江藤病院	下肢免荷期間のあった症例の歩容改善の為、HONDA 歩行アシストを使用した効果
15-35	島田 莉奈	作業療法士	福井県	福井リハビリテーション病院	転倒予防に患者の主観的自己評価感を確認することは有効である
15-36	佐々木 ひな	作業療法士	宮城県	石巻健育会病院	当院回復期病棟入院患者におけるBMIの実状とFIM利得の関連について
15-37	長友 広一	理学療法士	大阪府	豊中平成病院	人工呼吸器管理の重症ギラン-バレー症候群患者に対する歩行訓練の効果: 症例報告
15-38	久保 進也	作業療法士	北海道	札幌西円山病院	当院回復期リハビリテーション病棟における10年推移と患者特性について～認知症例に着目して～
15-39	香山 和志	作業療法士	東京都	信愛病院	ペグ移動訓練が認知機能に与える影響

16 維持期リハ（在宅系）

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
16-1	野本 正仁	理学療法士	群馬県	美原記念病院	在宅高齢者の閉じこもりを予防するために必要な因子の検討
16-2	小川 仁道	理学療法士	千葉県	富家千葉病院	AFOにおける中足指節間関節の伸展が歩行に与える影響
16-3	竹澤 梢	理学療法士	埼玉県	富家病院	血液透析患者が在宅生活を送るうえで必要な在宅支援について —当訪問リハビリ室における傾向—
16-4	吉田 侑貴	理学療法士	埼玉県	富家病院デイケアセンター	併設されたデイケア・デイサービスの活用～通所系事業所の新提案～
16-5	井村 匡隆	理学療法士	徳島県	中洲八木病院	短時間デイケアへ移行後の身体能力・ADL能力及び満足度の変化について
16-6	佐藤 武彰	理学療法士	新潟県	三条東病院	在宅で重度障害者用意思伝達装置の利用に対する支援 ～IPS方式モニタ増設による導入案～
16-7	濱西 俊樹	理学療法士	兵庫県	南淡路病院	デイケア利用者に対してHONDA歩行アシスト [®] を使用した効果 ～1事例実践報告～
16-8	今川 光	理学療法士	茨城県	大宮フロイデハイム	リハビリテーション専門職の人員配置増員による取り組みと効果
16-9	秋田 透	理学療法士	兵庫県	平成病院	通所リハビリテーション利用者におけるサルコペニアの有病率について
16-10	古谷 壺成	理学療法士	宮城県	介護老人保健施設ゆうホーム	スーパーへの移動、買い物に足漕ぎ車椅子を使用した症例
16-11	演題取り下げ				
16-12	木全 孝幸	作業療法士	東京都	大内病院	水やりの役割を通してデイケアへの通所意欲を取り戻した事例
16-13	佐藤 勝志	理学療法士	茨城県	志村大宮病院	当法人の通所介護施設と通所リハビリ施設におけるリハビリ効果の比較
16-14	岩崎 美花	理学療法士	北海道	定山溪病院	当院訪問リハビリテーション利用者の車椅子現状調査とスタッフの意識調査
16-15	黒田 龍太郎	理学療法士	富山県	介護老人保健施設みどり苑	自己管理型リハビリ「セルフリハビリ」の推進～当苑でのリハビリ内容について～
16-16	山田 雄祐	理学療法士	東京都	世田谷記念病院	新型コロナウイルス流行による訪問リハビリ自粛の身体・認知機能への影響
16-17	猪狩 浩	理学療法士	群馬県	内田病院 沼田訪問看護ステーション	前頭側頭葉変性症にて意味性認知症を呈した例の在宅支援経験
16-18	横田 直也	理学療法士	茨城県	志村大宮病院	入浴時の呼吸苦に対して在宅での呼吸リハと生活様式の工夫を行った症例

17 維持期リハ（入院）

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
17-1	福元 一輝	理学療法士	徳島県	中州八木病院	長期入院により離床意欲の低下した症例にVirtual Reality鑑賞を用いたことで意欲向上に繋がった症例
17-2	泉谷 佑美	作業療法士	大阪府	泉佐野優人会病院	ピークフロー値は入院2か月後の機能的自立度評価法値と相関する
17-3	岩崎 宏行	理学療法士	大阪府	平成記念病院	Parkinson症状を呈する患者に対する積層した低反発マットレス上でのポジショニングの筋緊張緩和効果
17-4	中村 創太	理学療法士	大阪府	泉佐野優人会病院	ウィーニング、気管切開カニューレ抜管後の睡眠時無呼吸症候群とうつ症状が改善した症例
17-5	佐々 昂典	作業療法士	北海道	聖ヶ丘病院	慢性期病院におけるがんのリハビリテーションの現状と課題
17-6	西岡 彩	作業療法士	東京都	緑成会整育園	写真カードの導入が、質問内容に変化を与えた症例
17-7	高松 大鷹	理学療法士	石川県	千木病院	股関節伸展に着目した膝立ち位訓練により加速歩行の頻度が減少した症例
17-8	佐野 佑磨	理学療法士	静岡県	新富士病院	交感神経の賦活化がその後の運動パフォーマンスに与える影響
17-9	赤池 優	理学療法士	群馬県	群馬パース病院	慢性期病院における超高齢者（90歳以上）に対するリハビリテーションの効果
17-10	山下 誠	理学療法士	東京都	みなみ野病院	リハ単位数増加によるFIM、転帰先の調査
17-11	齋藤 翔	理学療法士	東京都	緑成会病院	HONDA歩行アシストによる理学療法のパーキンソン病歩行障害改善の有効性
17-12	平田 祐也	理学療法士	静岡県	すずかけヘルスケアホスピタル	療養病棟における退院支援に向けたリハビリテーションの効果と経過
17-13	長沼 真	理学療法士	群馬県	本多病院	車椅子シートのたわみを改善する簡易補正板の使用効果の検討

18 排泄リハ

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
18-1	藤井 信濃	理学療法士	東京都	多摩川病院	下部胸郭の拡張差は骨盤底筋拳上量に影響を与える
18-2	藤井 峰生	作業療法士	徳島県	鳴門山上病院	オムツ交換時における主観的ケア難易度に関係する因子の検討 ～リハビリプログラムの再考に向けて～
18-3	服部 佑輔	理学療法士	群馬県	内田病院	「介助のポイント」の見える化で、排泄関連動作の「できるADL」と「しているADL」の差は埋まるか？
18-4	松本 陸	看護師	香川県	橋本病院	脳卒中患者のトイレ動作自立にかかわる因子の検討
18-5	佐藤 翔	理学療法士	千葉県	印西総合病院	尿失禁症状を有する慢性期脳卒中患者に対し、症状に応じたリハで失禁、生活の質が改善した症例：症例報告
18-6	井澤 光	作業療法士	徳島県	江藤病院	下衣の引き上げにおける動作傾向の調査
18-7	上村 武義	作業療法士	愛媛県	HITO病院	排泄予測デバイス「DFree」が失禁をなくす！ ～ICTを活用した失禁対策～

19 摂食・嚥下リハ

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
19-1	栗田 麻友	管理栄養士	東京都	世田谷記念病院	OE法併用し、経口摂取へ移行した一症例 ～管理栄養士の関わり～
19-2	道中 俊成	看護師	山口県	昭和病院	食事摂取量が低下した患者に対するKTBCを 使用した包括的アプローチ ～住み慣れた施設への退院を目指して～
19-3	河本 祐貴	言語聴覚士	徳島県	江藤病院	当院回復期リハビリテーション病棟における義 歯の適合と関連するデータの分析
19-4	堤 翔希	言語聴覚士	千葉県	富家千葉病院	意識障害により食事摂取に難渋した症例 ～覚醒向上、食事摂取量増加を目指して～
19-5	田崎 虹佑	介護職	千葉県	富家千葉病院	食べられるってすばらしい
19-6	川本 導子	看護師	大阪府	緑水会病院	誤嚥リスクが高い患者に黒胡椒の香りをを用いた 効果
19-7	田口 幸子	介護福祉士	大阪府	緑水会病院	摂食嚥下障害のある患者に口腔機能訓練を実施 した効果
19-8	赤井 靖之	言語聴覚士	島根県	安来第一病院	精神科入院・通院患者と関連施設入所者におけ る摂食機能療法の取り組み
19-9	鎌田 祐子	言語聴覚士	千葉県	総泉病院	当院の慢性期高齢患者の嚥下障害と舌機能 ～嚥下機能と舌圧数値の変化～
19-10	合歓垣 洸一	作業療法士	石川県	芳珠記念病院	地域包括ケア病棟におけるPoint of Careリハ ビリテーションの取り組み ～食事場面への介入と効果～
19-11	河内 佑哉	理学療法士	兵庫県	平成病院	言語聴覚士が呼吸リハビリテーションの導入に 対して抱く不安要因の実態調査
19-12	松川 純子	管理栄養士	静岡県	東名裾野病院	嚥下造影検査を施行し多職種にてリスク方法を 検討した結果、経口摂取の維持が可能となった 症例
19-13	富田 まさ子	介護福祉士	東京都	ベトレヘムの園病院	摂食に変動あるパーキンソン病の患者への関わり ～自立した楽しい食事をめざして～
19-14	小河原 雄大	言語聴覚士	東京都	平成扇病院	入院中に誤嚥性肺炎なく常食まで改善し自宅退 院した症例
19-15	戸田 みずき	言語聴覚士	東京都	世田谷記念病院	両側反回神経麻痺により嚥下障害を呈した症例
19-16	西村 恵美	言語聴覚士	大阪府	弥刀中央病院	介護老人保健施設における摂食嚥下評価表導入 に向けて一摂食嚥下に関する職員の実態調査一
19-17	武田 千尋	医師	群馬県	西毛病院	嚥下フローチャート利用による多職種での経口 食事摂取再開までの取り組み
19-18	原田 美紀	看護師	大阪府	泉佐野優人会病院	回復期リハビリテーション病棟における「食べ る」ことへの支援
19-19	下地 亜希子	看護師	東京都	小平中央リハビリテ ーション病院	高次機能障害により不穏に陥りやすくなった患 者の経口摂取に向けた取り組み

20 医療ソーシャルワーク

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
20-1	角田 駿	ソーシャル ワーカー	東京都	多摩川病院	地域連携の質の向上に向けて：栄養情報提供書 の必要性
20-2	佐藤 真哉	ソーシャル ワーカー	埼玉県	富家病院	富家グループという社会資源 ～退院支援のソーシャルワークより～
20-3	中原 早紀	社会福祉士	愛知県	小林記念病院	施設検索システム“My Re♡Life”を利用した 退院支援の業務効率化と質の向上

21 食事サービス

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
21-1	森 奈穂子	管理栄養士	徳島県	博愛記念病院	食材の軟化
21-2	岸本 ひろみ	看護師	島根県	加藤病院	最後まで食べることを望んだALS患者の看護
21-3	中村 栄子	管理栄養士	三重県	花の丘病院	「笑食・快膳」をめざして当院における『食』への取り組み
21-4	濱田 莉奈	看護師	鹿児島県	国分中央病院	糖質制限食を用いたインスリン離脱に向けた取り組み
21-5	濱田 莉歩	看護師	鹿児島県	国分中央病院	糖質制限食により得られる効果について
21-6	金末 麻希	介護福祉士	広島県	介護医療院ひいろ	水分摂取を促すための援助 ～提供の方法や内容の工夫～
21-7	弦間 美咲	管理栄養士	山梨県	城東病院	病院給食委託業務から直営へ

22 栄養ケア・マネジメント

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
22-1	大矢 守彦	医師	神奈川県	元気会横浜病院	入院時中心静脈カテーテル挿入患者の予後因子に関する検討
22-2	福田 博之	管理栄養士	島根県	安来第一病院	嚥下調整食の一覧表作成を試みて ～適切な食種決定から誤嚥予防につなげる～
22-3	篠崎 有隆	理学療法士	群馬県	内田病院	回復期リハ病棟における認知症を伴う患者の入退院時の体重変化の関連因子
22-4	須崎 里沙	管理栄養士	群馬県	内田病院	認知症の方の食事摂取量向上に向けたアプローチ —大誠会スタイルの「食事摂取時の工夫」を用いて—
22-5	齋藤 寛太	臨床工学技士	千葉県	富家千葉病院	高齢透析患者におけるSurvival Indexの年齢別栄養評価と検討
22-6	古旗 仁美	准看護師	東京都	信愛病院	経管栄養チューブのトラブル減少への試み ～ケアワーカーと共に患者の観察を行ってみて～
22-7	太村 文哉	理学療法士	東京都	世田谷記念病院	当院におけるリハたいむゼリー導入とFIMの運動項目との関係
22-8	藤嶋 春伽	理学療法士	東京都	南多摩病院	ANCA関連血管炎に対して負荷量設定に難渋した症例 ～高用量のステロイドに内服や栄養面が及ぼした影響～
22-9	新穂 真由	看護師	京都府	嵯峨野病院	胃瘻刺入部からの注入漏れ減少を目標とした取り組み
22-10	西岡 心大	管理栄養士	長崎県	長崎リハビリテーション病院	回復期リハビリテーション病棟におけるサルコペニア、低栄養および合併例の特性と関連因子
22-11	鳥居 有佐	看護師	静岡県	掛川東病院	安全にとろみを作る方法 ～飲料ごとのとろみのつく時間を計測して～
22-12	梅村 清美	看護師	石川県	芳珠記念病院 介護医療院 陽だまり	「口から食べる」にこだわる -完全側臥位による経口摂取を取り入れた事例から-
22-13	梯 智貴	理学療法士	兵庫県	南淡路病院	医療療養病棟における高齢患者の低栄養、骨粗鬆症骨折のリスク
22-14	竹村 大貴	作業療法士	千葉県	富家千葉病院	当院における管理栄養士とリハビリスタッフの視点の乖離を埋めるために ～面接、アンケートを用いて～
22-15	森田 千尋	管理栄養士	京都府	嵯峨野病院	固形化濃厚流動食の使用効果の症例報告
22-16	中澤 若葉	管理栄養士	山梨県	城東病院 介護医療院	介護医療院の栄養士としての役割

23 口腔ケア

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
23-1	野々山 直美	看護師	埼玉県	富家病院	唾液の分泌を促進するマッサージを用いた口腔ケア
23-2	島谷 浩幸	歯科医師	大阪府	堺平成病院	高齢入院患者に「優しい」歯科を目指して ～動揺歯に対するアプローチあれこれ～
23-3	古庄 かおり	看護師	福岡県	北九州若杉病院	口腔環境改善への取り組み～はちみつを使用した口腔ケア～
23-4	新井 慎	言語聴覚士	埼玉県	目白大学	当回復期リハビリテーション病棟入院時の摂食嚥下障害者の口腔清掃自立度別の特徴について
23-5	田中 芳美	介護福祉士	埼玉県	地域密着型特別養護老人ホーム鶴ヶ岡苑	口腔ケアの取り組みについて
23-6	菅沼 亜耶乃	言語聴覚士	東京都	天本病院	当回復期リハビリテーション病棟入院・退院時の後期高齢嚥下障害者の口腔清掃自立度・口腔衛生状態の変化
23-7	大橋 広美	看護師	静岡県	掛川北病院	口腔ケアの質の向上を目指して
23-8	井料 奈津美	看護師	福岡県	原病院	回復期リハビリ病棟における口腔ケアの重要性について～OHATを使用した症例～
23-9	林田 莉奈	看護師	福岡県	原病院	効果的な口腔ケアの検討 ～蜂蜜を使用して～
23-10	小林 紀子	歯科衛生士	群馬県	特別養護老人ホームくやはら	特別養護老人ホームにおける口腔ケアの質の変化と肺炎予防の関係について

24 排泄ケア

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
24-1	堀部 悦子	看護師	広島県	呉記念病院	排便コントロールの取り組みで見えてきたもの ～排便コントロールは性状コントロール～
24-2	市川 拓	理学療法士	千葉県	ケアホーム船橋	特別養護老人ホームにおける排せつ支援加算への取り組みと成果
24-3	斉藤 直也	看護師	東京都	大内病院	筒巻パットの巻き方を検討して ～男性患者の筒巻パットの効果について～
24-4	豊島 祐治	介護福祉士	兵庫県	北摂中央病院	オムツ使用における失禁関連皮膚障害（IAD）の取り組み
24-5	田中 剛二	看護師	福岡県	北九州中央病院	快適で効果的なオムツの装着を目指して
24-6	高橋 はるみ	看護師	千葉県	富家千葉病院	排便ナラティブを通して 私達ができること
24-7	静 直子	看護師	群馬県	鶴谷病院	当院における排尿ケアチームの活動と課題
24-8	角田 沙耶花	看護師	群馬県	内田病院	認知症を伴う高齢者に対するCSTを中心とした膀胱留置カテーテル抜去の効果
24-9	岡部 春香	作業療法士	群馬県	内田病院	「介助のポイント」の長期掲示による排泄関連動作の「しているADL」改善効果の検討
24-10	田中 智寛	介護福祉士	群馬県	特別養護老人ホームくやはら	座薬使用量減少を目指した排便コントロール ～お茶や乳製品を使用した自然排便を目指して～
24-11	石川 秀明	介護福祉士	東京都	介護老人福祉施設ヴィラ町田	立位での排泄動作を目指して ～介護職員が理学療法士とリハビリを行った結果～
24-12	印南 里子	看護師	千葉県	佐倉厚生園病院	夜間オムツ交換回数減少による睡眠の改善
24-13	八田 絵里奈	看護師	富山県	砺波サンシャイン病院	患者に優しい便秘処置～オリゴ糖を用いて～
24-14	岸良 恵美	看護師	東京都	信愛病院	療養病棟でのADL向上を目指したアプローチ ～ベッド上からトイレでの排泄へ～

25 スキンケア

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
25-1	徳田 里佳	介護福祉士	大阪府	緑水会病院	ドライスキンのある患者に対しワセリン使用方法の違いによる保湿効果
25-2	永田 純子	看護師	埼玉県	富家病院富家訪問看護ステーションふじみ野	継続したケアを必要とする在宅療養者への訪問看護師の役割を考える ～1つの症例を通して改めて学んだこと～
25-3	松原 希佐子	准看護師	埼玉県	富家病院	胃瘻周辺の皮膚トラブルへのケア ～集中的ケアで皮膚再生促進へ～
25-4	半村 亜由美	看護師	千葉県	富家千葉病院	当院のフットケアチームの取り組み
25-5	村里 蓮	看護師	千葉県	富家千葉病院	手指拘縮患者に対する拘縮手の清潔ケア ～手作りハンドロールを使用した取り組み～
25-6	山本 千津	看護師	京都府	京都南西病院	医療療養病棟における皮膚トラブルの現状 - 皮膚トラブル減少への取り組み -
25-7	山川 由希恵	看護師	福岡県	北九州宗像中央病院	ドライスキンの改善に向けた取り組み ～泡による洗身を取り入れて～
25-8	井上 真彦	介護職	大阪府	多根第二病院	患者個々に応じた安楽なポジショニングの検討
25-9	町田 久美子	看護師	山口県	周南リハビリテーション病院	高齢者の乾燥肌へのアプローチ ー美肌水しようによる最適な濃度の検証ー
25-10	松井 由香	看護師	群馬県	内田病院	回復期リハビリテーション病棟入院患者の転倒と足皮膚トラブルの関係性
25-11	印南 里子	看護師	千葉県	佐倉厚生園病院	高齢者に対するグリセリンローションとオリーブ油を併用した保湿ケアの効果
25-12	平井 亜紀	看護師	静岡県	駿河西病院	当病棟における高齢者のスキントラブルへのアプローチ
25-13	神谷 静香	看護師	富山県	光ヶ丘病院	保湿剤と肌水分量の関係性について
25-14	加藤 泉美	介護福祉士	群馬県	群馬パース病院	高齢入院患者の腋窩の発赤を改善させる清拭ケアの実践とその効果の検証
25-15	草野 彰成	看護師	群馬県	群馬パース病院	拘縮手患者に対する不快感の少ないハンドロールの考案に向けた試み
25-16	谷岡 様子	介護福祉士	愛媛県	南高井病院	スキンケアの予防について
25-17	中島 裕貴	介護福祉士	東京都	大久野病院	スキン・ケア減少への取り組み ～皮膚保湿の重要性～

26 ターミナルケア・緩和ケア・看取り

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
26-1	橋本 有紀	介護支援専門員	埼玉県	メディカルホームふじみ野	サ高住における終末期のご入居者様の支援方法
26-2	船橋 恵美	看護師	埼玉県	メディカルホームふじみ野	サ高住（メディカルホームふじみ野）におけるターミナルケア
26-3	小黑 久代	看護師	静岡県	介護医療院 湖東病院	介護医療院での看取り ～在宅に近い看取りを目指して～
26-4	小林 未来	看護師	島根県	安来第一病院	コロナ禍においての終末期にある患者家族との橋渡し ～看護師にできる関わり～
26-5	井上 めぐみ	看護師	東京都	セントラル病院 本院	看取り看護を通して ～家族エンパワーメントがもたらす効果～
26-6	鍋島 葵	准看護師	福岡県	原病院	終末期透析患者に対する当院の取り組み ～アンケート調査から分かった事～
26-7	演題取り下げ				
26-8	小野 雅代	看護師	岡山県	総合病院 玉野市立玉野市民病院	筋萎縮性側索硬化症A患者の情動制止困難と思われる症状とその看護
26-9	森田 祐子	管理栄養士	東京都	みなみ野病院	緩和ケア病棟における栄養科の取り組み ～QOLの向上をめざして～
26-10	眞邊 仁美	看護師	鹿児島県	吉田記念病院	ACPに関わる看護スタッフの知識・意識の統一に向けたアプローチ
26-11	坂本 義孝	介護支援専門員	千葉県	富家千葉病院	その人らしさとは？ターミナルケアの事例から検証
26-12	甲斐 八重子	看護師	千葉県	富家千葉病院訪問看護ステーション	末期癌の利用者様と家族の思いに寄り添って ～家族との連携により出来た看取り～
26-13	松井 芽久美	准看護師	群馬県	特別養護老人ホームくやはら	特別養護老人ホームの看取りに対応する職員の不安や身体的負担の把握と支援方法の検討
26-14	北野 由香	看護師	山梨県	城東病院 介護医療院	介護医療院での看取り ～幸せな最期を迎えられるために～

27 臨床心理

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
27-1	板垣 仁美	臨床心理士	千葉県	富家千葉病院	透析中断を選択した70代女性と臨床心理士との面接過程
27-2	明石 理沙	看護師	埼玉県	富家病院	透析スタッフへのストレスケア ～抑制ゼロを継続してくために～
27-3	近藤 貴子	准看護師	群馬県	くすの木病院	高齢透析患者の思いを傾聴して明らかになったこと

28 ACP（人生会議）

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
28-1	杉元 公子	看護師	兵庫県	北摂中央病院	「ACPに基づいた、その人らしい生き方を支える看護」 ～デスカンファレンスを通して学んだ事～
28-2	成海 美恵子	看護師	埼玉県	霞ヶ関南病院	「どう生きたいか」を支援するACPの実践

29 ナラティブアプローチ

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
29-1	佐平 安紀子	作業療法士	兵庫県	平成リハビリテーション専門学校	ナラティブアプローチを通し,対象者の想いを形にした介入実践について
29-2	宮本 昭江	病棟クラーク	埼玉県	富家病院	言葉では伝えられない物語を写真にして… ～1つの物語を語り継ぐ役割を担うクラーク～

30 在宅医療

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
30-1	高橋 由紀子	薬剤師	群馬県	藤岡市国民健康保険鬼石病院	外来患者の地域包括ケアを支える栄養補助療法の取り組みー第2報
30-2	梶谷 美香	介護福祉士	千葉県	富家千葉病院	ご利用者の在宅生活の継続を維持するために
30-3	加藤 晴美	看護師	千葉県	富家千葉病院	自宅で最期を迎えたい患者と家族の思いに寄り添って ～多職種連携により実現できたこと～
30-4	佐山 彩子	看護師	東京都	台東区立台東病院	医療療養病棟から離島の自宅への退院を可能にした看護実践 ～「島の家に帰りたい」本人と家族に共鳴して～

31-1 認知症ケア

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
31-1-1	長谷川 知子	看護師	東京都	緑成会病院	回復期リハビリテーション病棟の認知症合併入院患者に対する認知症治療薬の有用性
31-1-2	森山 加菜	看護師	島根県	安来第一病院	認知症をもつ高齢者のもてる力に着目した身体拘束（ミトン型手袋）の解除に向けた取り組み
31-1-3	船津 豪	介護福祉士	福岡県	原土井病院	「安心・安全なケアの提供を目指して」～ユマニチュードで出会いの準備～
31-1-4	松澤 美奈子	准看護師	埼玉県	富家病院	ストレス軽減への取り組み ー認知機能低下のある患者へ試みてー
31-1-5	阿部 恭之	理学療法士	埼玉県	富家在宅リハビリテーションケアセンター	認知症があっても自分らしく～当院物忘れ外来からデイケアへ～
31-1-6	松山 愛	看護師	北海道	定山溪病院	認知症ケアリンクナース会の実践と課題
31-1-7	小池 京子	看護師	群馬県	内田病院	陰性症状の強いBPSDを示す認知症の人への大誠会スタイルケア・マニュアル作成の試み
31-1-8	池谷 勇樹	理学療法士	群馬県	内田病院	認知症合併者における「できるADL」と「しているADL」の差の検討 ～回復期リハスタッフへの聞き取り調査～
31-1-9	井口 有紀江	看護師	香川県	橋本病院	認知症治療病棟における生活リズムの構築 ～簡易エルゴメーターを使った運動療法を導入して～
31-1-10	山岡 祐樹	作業療法士	香川県	橋本病院	畑作業を行うことで周辺症状に変化が見られた一症例
31-1-11	橋本 恋	看護師	三重県	花の丘病院	回復期リハビリテーション病棟における認知症患者の看護 ～事例を通して見えた課題～
31-1-12	長田 絵里香	介護福祉士	静岡県	富士小山病院	認知症利用者のハラスメントに対する職員の思いとその対応
31-1-13	林 和磨	看護師	兵庫県	東浦平成病院	認知症患者に対するユマニチュード導入への取り組み
31-1-14	小室 響未	言語聴覚士	埼玉県	霞ヶ関南病院	デジタルストーリーを活用した穏やかに過ごす居場所づくり
31-1-15	宮内 昌広	介護福祉士	大阪府	泉佐野優人会病院	認知症患者様の精神的安定と排泄の関連性
31-1-16	呉島 勝哉	理学療法士	大阪府	弥刀介護老人保健施設	当施設における認知症者の行動・心理症状に対する他職種での取り組み
31-1-17	新谷 夏海	介護福祉士	群馬県	介護老人保健施設大誠苑	帰宅願望行動評価スケールの妥当性の検討 ～帰宅願望の程度の数量化の試み～
31-1-18	中野 美穂	看護師	千葉県	印西総合病院	新型コロナウイルス対策中における、ユマニチュードの関わり
31-1-19	宅見 大介	看護師	大阪府	泉佐野優人会病院	日中活動量の増加が認知症周辺症状の改善に繋がった一症例
31-1-20	田邊 貴博	看護師	群馬県	群馬パース病院	看護職員が負担と感じる認知症患者の中核症状・周辺症状について
31-1-21	下境田 雄麻	作業療法士	鹿児島県	国分中央病院	認知症患者に対する糖質制限食の有効性
31-1-22	山口 直子	看護師	千葉県	総泉病院介護医療院	その人に合ったレクリエーションの見つけ方ー生活史を聴取してー

31-2 認知症Ⅱ 環境

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
31-2-1	柴田 江美子	看護師	栃木県	宇都宮中央病院	認知症患者の転棟によるリロケーションダメージ—精神的リロケーションダメージの行動障害の変化—
31-2-2	高橋 陽子	介護支援専門員	埼玉県	富家在宅リハビリテーションケアセンター	人生100まで、「認知症があっても自分らしく生きる」
31-2-3	奥山 緑	園芸療法士	兵庫県	東浦平成病院	ミニ菜園に取り組む
31-2-4	若生 智亜樹	看護師	埼玉県	西部総合病院	回復期リハビリテーション病棟における認知症患者への個別性に合わせたレクリエーションを導入して

32 癒し・療養環境

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
32-1	谷 由美	介護福祉士	三重県	長島中央病院	気分上々♪浴室リメイク
32-2	内藤 美佳	介護福祉士	静岡県	介護医療院 湖東病院	個別ケアを通して生活リズムを整えよう
32-3	稲田 芽依	作業療法士	福島県	いわき湯本病院	入院患者における主観的なQOLアセスメント法の検討
32-4	明戸 正文	看護師	群馬県	群馬パース病院	拘縮患者への安楽を求めたポジショニング・クッションの使い方 ～患者疑似介入からの検討～
32-5	伊藤 和美	介護職	埼玉県	春日部厚生病院	意思伝達困難患者へのコミュニケーション方法～フィンガーボード・グローブでのアプローチを通して～
32-6	神野 昌美	介護福祉士	愛媛県	南高井病院	快適な療養環境を目指す取り組み～環境整備からつながる・スキンケアの予防～

33 家族とのかかわり

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
33-1	廣瀬 正江	准看護師	群馬県	群馬パース病院	長期入院患者とその家族の思いを知る～失語症とのコミュニケーションを試みて～

34 チーム医療

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
34-1	山口 玲奈	看護師	静岡県	東名裾野病院	排尿ケアチームが病棟スタッフと連携できるまで —トップダウン型からボトムアップ型—
34-2	柳川 竜一	理学療法士	東京都	永生病院	当院介護療養病棟における離床回数向上に向け たりハビリスタッフの関わり方の検討
34-3	石田 祥児	理学療法士	岡山県	重井医学研究所附属病院	チーム連携カレンダー・離床ボード利用にて家 族との連携強化・活動性向上が図れ円滑な退院 支援となった症例
34-4	武藤 慎太郎	言語聴覚士	埼玉県	富家病院	長期人工呼吸器装用患者への腹臥位の取り組み
34-5	石井 大輔	理学療法士	神奈川県	長岡病院	長期療養と看取りが主体であった療養型病院に おける自宅退院支援の一症例
34-6	宮城島 真希	看護師	静岡県	静岡徳洲会病院	療養病棟初の試み 人口呼吸器装着患者受け入れを通して
34-7	瀬川 雅子	看護師	東京都	みなみ野病院	よりよい退院支援のために ～多職種間における考え方の相違の共有～
34-8	鈴木 美佳	看護師	静岡県	静岡徳洲会病院	療養病棟における退院支援の強化を目指した取 り組み—固定チームナーシングを導入して—
34-9	近藤 穂波	管理栄養士	神奈川県	江田記念病院	慢性期病院でのNST活動の取り組みと今後の 課題について
34-10	細川 克美	看護師	愛媛県	H I T O病院	多職種連携セルケアシステム導入による成果と 課題
34-11	北原 久代	作業療法士	石川県	芳珠記念病院 介護医 療院 陽だまり	いくつになっても口から食べられるように ～介護医療院の食支援～
34-12	桜井 美恵子	看護師	群馬県	藤岡市国民健康保険鬼 石病院	リハビリ職と看護職及び介護職の継続的な リハビリ看護に向けた取り組みの一考察
34-13	佐藤 仁美	医師	山梨県	城東病院	「生活を支えるチーム医療の確立」を目指して
34-14	木村 亜沙子	理学療法士	石川県	芳珠記念病院 介護医 療院 陽だまり	身体拘束解除を目標に,KTBCの多面的視点か ら多職種で経口摂取を目指した一症例
34-15	浅岡 輝	介護福祉士	愛媛県	南高井病院	障害者病棟における退院支援の取り組み ～QOLの維持向上～
34-16	岡 秀晃	介護福祉士	大阪府	泉佐野優人会病院	慢性期療養病棟での「離床活動」についての実 践研究

35 日常的管理や記録

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
35-1	圓岡 宏美	看護師	埼玉県	富家病院	個別性に配慮した行動チェック表の活用から得 たもの
35-2	古橋 諭司	臨床工学技士	千葉県	富家千葉病院	当院における透析患者のV Aの現状
35-3	石丸 洋子	看護師	大阪府	堺平成病院	回復期リハビリ病棟における内服自己管理能力 獲得に向けての取り組み
35-4	鳥羽 梨沙	看護師	大阪府	堺平成病院	リブレ管理が困難な高齢患者への自己管理に向 けての指導

36 レクリエーション

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
36-1	秋原 健利	作業療法士	東京都	介護老人福祉施設 ケアホーム葛飾	『車椅子で行う上肢と下肢の運動による基礎体温の変化』
36-2	坪田 三枝子	介護福祉士	東京都	セントラル病院	レクリエーションを通じて得たもの ～患者の笑顔が大切な意味～
36-3	鈴木 美貴恵	作業療法士	東京都	大内病院	重度認知症デイケアにおける色カルタの取り組み～複数回実施により参加様式と他者交流に変化が生じた事例～
36-4	仲嶺 雄太	事務職	東京都	日の出ヶ丘病院	ボランティアが介護医療院のチーム医療に与える効果
36-5	永田 幸輝	看護師	群馬県	群馬パース病院	入院後にせん妄を生じた後期高齢者に向けたレクリエーション介入の試み
36-6	番場 るみ子	介護福祉士	群馬県	群馬パース病院	家族参加のレクリエーションが患者とその家族の満足度に及ぼす影響
36-7	風間 達也	作業療法士	埼玉県	上尾中央第二病院	作業療法士が中心となったレクリエーションへの取り組み

37 デイサービス

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
37-1	鈴木 佐知子	介護福祉士	埼玉県	富家デイサービスセンター苗間	単身独居を支えるデイサービス
37-2	後藤 泉美	理学療法士	千葉県	富家千葉病院	デイサービス利用者の転倒予測 ～FBSと2 StepTestとの関連～
37-3	望月 建吾	理学療法士	千葉県	富家リハビリセンター花見川	デイサービスの利用終了者 ～退所理由からの検討～
37-4	戸田 章吾	介護福祉士	千葉県	特別養護老人ホーム四街道苑	いつまでも歩きたい ～ノルディックウォーキング導入へ～
37-5	原田 ひろみ	介護福祉士	徳島県	江藤病院	デイケア利用者の満足度調査を実施して ～利用者の生の声から業務改善へ～

38 地域連携

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
38-1	工藤 通明	医師	群馬県	藤岡市国民健康保険鬼石病院	地域包括ケア充実に向けた研究会の活動と感染対策の重要性
38-2	阿川 直子	社会福祉士	長野県	諏訪中央病院	退院後合同訪問を実施して～患者家族・病棟・在宅関係者とのワンチーム構築を目指して～
38-3	河本 祐貴	事務職	埼玉県	富家病院	集患だけで満足してませんか？
38-4	湯本 舞	准看護師	埼玉県	西部総合病院	地域包括ケア病棟から施設退院後のケアの継続性の検証 ～看護サマリーの改善を試みて～
38-5	石濱 裕規	理学療法士	東京都	永生病院	南多摩地域リハ支援センター関連の福祉用具講習会等における事業形態と参加者密度
38-6	谷口 まり子	介護支援専門員	大阪府	堺平成病院	綿密な多職種の連携支援により自宅退院を達成できた高度体幹失調と高次脳機能障害を伴う脳梗塞後遺症の例

39 地域包括ケアシステム

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
39-1	大川 明子	大学教員	三重県	三重県立看護大学	在宅腹膜透析患者のクラウド型支援システムの構築
39-2	万田 祥秀	作業療法士	山口県	周南リハビリテーション病院	当院での地域支援活動への取り組み～地域の関連機関と連携して～
39-3	上田 裕一	事務職	島根県	加藤病院	邑智郡医師会「病床の機能分化に向けた医療連携推進コーディネーター配置事業」事業報告
39-4	末吉 裕史	理学療法士	千葉県	印西総合病院	地域包括ケアシステムの構築に当院訪問リハビリテーションが担える事
39-5	高田 幸治	理学療法士	徳島県	博愛記念病院	医療介護保険ミーティングによる円滑な退院支援に向けて～入院時サービス担当者会議の効果～
39-6	丸岡 美智子	看護師	徳島県	博愛記念病院	入退院支援の推進～安心した入院生活を目指して～

40 地域包括ケア病棟・病床

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
40-1	早崎 奈央	理学療法士	鹿児島県	加治木温泉病院	地域包括ケア病棟における腎臓リハビリテーションへの取り組み
40-2	下拂 綾乃	理学療法士	福岡県	原土井病院	地域包括ケア病棟で入退院を繰り返すCOPD患者を経験して～ときどき入院ほぼ在宅を達成できている症例～
40-3	原田 奏子	看護師	福岡県	原病院	地域包括ケア病棟における退院支援
40-4	松尾 一世	作業療法士	福岡県	筑紫南ヶ丘病院	地域包括ケア病棟における取り組み前後でのアンケート調査の比較
40-5	田中 恵	看護師	北海道	花川病院	地域包括ケア病棟での更衣の取り組み
40-6	岩上 倫太郎	理学療法士	石川県	芳珠記念病院	当院地域包括ケア病棟における情報共有方法の変遷とその有効性の検討～転倒発生率を指標として～
40-7	岡田 健佑	作業療法士	愛知県	小林記念病院	地域包括ケア病棟でのWernicke脳症症例に対するCanadian Occupational Performance Measureを用いた介入
40-8	渋谷 沙也果	理学療法士	埼玉県	春日部厚生病院	地域包括ケア病床におけるがん患者へのリハビリテーション専門職の関わり～患者・家族のサポートに向けて～

41 病院経営・病床転換

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
41-1	池端 昭彦	理学療法士	鹿児島県	吉田記念病院	医療療養病床から介護医療院転換後のリハビリテーション課の変遷と今後の課題
41-2	勢力 美佳	看護師	和歌山県	宇都宮病院	看護ケアにおけるコスト削減への介入～内服注入時カテーテルチップシリンジからけんだくボトルに変えて～
41-3	渡邊 未来	看護師	福井県	福井リハビリテーション病院介護医療院	介護医療院って何？担当者会議って何？
41-4	小笹 龍羅	看護師	鹿児島県	吉田記念病院	療養型病棟から介護医療院への転換にあたっての入所者様の反応、変化について

42 労務管理

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
42-1	松井 美恵子	准看護師	群馬県	駒井病院	時間外労働削減への取り組み
42-2	櫻井 淳子	介護福祉士	千葉県	富家千葉病院	ベトナム人技能実習生と共に創る受け入れ体制
42-3	佐藤 うた子	介護福祉士	埼玉県	富家病院	外国人職員と共に過去から未来へ ～一緒に支え合いながら～
42-4	大竹 沙也加	介護福祉士	群馬県	介護老人保健施設大誠苑	大誠会スタイルによる認知症ケアは、介護職の 「働き方」を改善させるか？
42-5	今富 裕之	理学療法士	徳島県	博愛記念病院	男性の育児休暇取得状況と今後の病院体制につ いて
42-6	河野 伸吾	理学療法士	北海道	定山溪病院	当院慢性期病院に従事しているリハスタッフの キャリアアンカーの傾向について
42-7	小坂 尚志	理学療法士	茨城県	牛尾病院	医療従事者における内省と変革型リーダーシッ プとの関連について
42-8	石井 千春	介護福祉士	福岡県	高良台リハビリテー ション病院	新人教育から見えてくる現場の課題
42-9	伊藤 千勇野	看護師	群馬県	美原記念病院	障害者施設等一般病棟で勤務する看護師の労働 環境とバーンアウト

43 業務改善

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
43-1	橋本 克彦	事務職	千葉県	富家千葉病院	令和2年度診療報酬改定から見える「当院の課題」及び「課題へのアプローチ」
43-2	片山 夕月	看護師	千葉県	富家千葉病院	申し送り業務の改善 ～申し送り表の運用開始した成果～
43-3	山本 祐子	管理栄養士	東京都	世田谷記念病院	キャリアラダー開発による新たな教育システムの構築 ～あらゆる場で活躍できる管理栄養士を目指して～
43-4	大野 竜也	事務職	埼玉県	富家病院	富家病院における医事課の役割と教育
43-5	飛田 美穂	保育補助	兵庫県	南淡路病院	戸外散歩における安全対策
43-6	長岡 亜希子	看護師	東京都	ベトレヘムの園病院	電子カルテ導入に向けた申し送りを廃止の取り組み ～時間短縮から廃止へ～
43-7	大橋 小百合	看護師	徳島県	介護医療院鳴門山上病院	介護医療院におけるエンドオブライフケアの充実を目指して ～業務改善とチームケアへの取り組み～
43-8	月井 直哉	理学療法士	群馬県	介護老人保健施設うらく	看護・介護職員の就業時間以外の過ごし方は腰痛に影響を与えるか？
43-9	森田 雅樹	介護福祉士	静岡県	新富士病院	キャリアパス制度による教育支援 ～実施後3年間の実績と今後の課題～
43-10	増田 佳幸	理学療法士	茨城県	宮本病院	当院における看護要員の腰痛実態調査から見た有効な腰痛予防対策の検討
43-11	今治 ひとみ	社会福祉士	徳島県	江藤病院	退院調整スクリーニングシートの改訂と退院支援
43-12	久田 弘美	准看護師	大阪府	堺平成病院	他職種と連携した中材への認識向上に向けた取り組みについて ～中材の勉強会を通して～
43-13	増田 明日香	作業療法士	茨城県	宮本病院	栄養課職員を対象とした腰痛と筋肉量の関係について
43-14	齋藤 信一	介護福祉士	千葉県	特別養護老人ホーム四街道苑	外国人技能実習生と共に働く未来へ
43-15	柳井 絵美	准看護師	広島県	介護医療院ひいろ	フィッシュ哲学を導入してスタッフのモチベーションアップを図る ～ほめることの効果～
43-16	児野 章久	看護師	山梨県	城東病院 介護医療院	介護医療院での記録の在り方 ～電子カルテを導入したことで見えてきたこと～
43-17	松枝 文子	看護師	鹿児島県	国分中央病院	職員検診における大腸がん検診受診率向上への取り組み
43-18	渡部 博一	内視鏡検査技師	鹿児島県	国分中央病院	当院における自作内視鏡レポートシステム導入後の変化と課題
43-19	大西 純子	看護師	大阪府	豊中平成病院	体位変換による腰痛と疲労感軽減をはかる
43-20	秋久 文彦	理学療法士	埼玉県	霞ヶ関南病院	当通所リハビリテーション事業所における対面接触時間を減らした利用前居宅訪問の工夫
43-21	寺谷 春佳	事務職	兵庫県	平成病院	不備カルテを減らすための取り組み ～看護部へのアプローチ～
43-22	加集 真未	介護福祉士	徳島県	中洲八木病院	Ns申し送り表を使用した業務改善
43-23	山田 広子	准看護師	群馬県	藤岡市国民健康保険鬼石病院	A病院における看護研究後の研究活用状況の調査 ～院内の看護研究成果が活用されない要因に焦点を当てて～
43-24	太良木 美江	看護師	大阪府	多根第二病院	医療療養病床での業務改善に向けた取り組み ～看護業務のタスクシフト・シェアについて看護補助者の活用～

43-25	吉成 一晃	看護師	福岡県	原病院	業務の簡素化を目指した業務改善の結果 ～ゆとりのある看護介護をめざして～
43-26	小西 真実	看護師	徳島県	江藤病院	救急受け入れ体制への取り組みについて
43-27	松岡 桃香	介護福祉士	愛媛県	南高井病院	患者・職員ともに安全安楽を意識したケアを行う ～リフトを運用した移乗の導入をとおして～
43-28	守澤 留美	看護師	山梨県	城東病院	生活を支える看護 ～今、求められている看護師の役割～
43-29	橋本 和樹	理学療法士	徳島県	中洲八木病院	介護福祉士における負担の多い介護内容の把握
43-30	伊藤 淑美	介護福祉士	千葉県	富家千葉病院	離床時間の延長と飲水量増加を目指して ～コミュニケーションのとれる場の提供を～
43-31	塩川 恵梨	事務職	埼玉県	霞ヶ関南病院	ケアアシスタント（CA）という新しい職種の 導入に向けた関りについて
43-32	米良 祐士	介護福祉士	富山県	西能みなみ病院	3人夜勤体制導入への取り組みとその効果
43-33	白濱 麻貴子	介護福祉士	北海道	定山溪病院	多様な働き方にあわせた新入介護職員教育デザ インシートの作成
43-34	富田 海帆	管理栄養士	東京都	世田谷記念病院	水害後の病院再開で栄養部が行った新たな取り 組み
43-35	黒田 美紀	管理栄養士	神奈川県	江田記念病院	認知症治療病棟における入院当日の管理栄養士 介入の取り組みと今後の課題について
43-36	谷口 麗奈	管理栄養士	徳島県	江藤病院	外来栄養指導件数増加への取り組み
43-37	大島 大輔	理学療法士	埼玉県	霞ヶ関南病院	霞ヶ関在宅リハビリテーションセンターにおけ るリハ一体化運営に伴う業務整理
43-38	北林 亮平	理学療法士	愛知県	老人保健施設ひまわり	リハビリテーション会議に対する満足度の実態 調査 ～経験年数と教育の観点から～

44 広報関係

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
44-1	島谷 浩幸	歯科医師	大阪府	堺平成病院	病院歯科の役割 ーコロナ禍における情報発信についてー
44-2	中川 望	理学療法士	埼玉県	春日部厚生病院	リハビリリンクとともに ～施設の垣根を越えて繋がる法人の輪～

45 施設建築・設備管理・環境保全

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
45-1	中村 賢一郎	理学療法士	徳島県	博愛記念病院	車いす操作を快適に行うためにタイヤの空気圧 の現状調査から見えた課題
45-2	横澤 諒美	理学療法士	静岡県	すずかけヘルスケアホ スピタル	物品紛失減少のための検討

46 防災・災害・BCP

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
46-1	林 年枝	看護師	神奈川県	平成横浜病院健診セン ター	アクションカード使用による災害訓練の効果
46-2	中村 宥之	理学療法士	徳島県	保岡クリニック論田病院	当院の防災対策に対する職員の意識調査結果の 分析と対応

47 IOT

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
47-1	入江 健太	医療情報技師	千葉県	富家千葉病院	Raspberry Piを用いた非接触型体温計（サーマルカメラ）の開発
47-2	ファンティウ ハン	看護師	千葉県	富家千葉病院	B Vモニターの有効性の検討
47-3	田辺 祐己	事務職	群馬県	特別養護老人ホームくやはら	共生型通所介護における職員の業務改善に向けた取り組み —送迎管理ITシステム導入を通して—
47-4	黒木 勝紀	介護福祉士	群馬県	内田病院	介護場面の動画撮影による老健スタッフの質の向上に向けた取り組み —専門職チームによる指導を通して—